

下郷町民憲章

昭和 55 年 3 月 10 日制定 (合併 25 周年記念)

- わたくしたちは 大川の溪谷美と いで湯の里にはぐくまれ
那須連峰の雄大な自然をもつ 心豊かな下郷町民です
わたくしたちは 先人のすぐれた文化遺産を受け継ぎ
より誇り高い町づくりをめざします
- わたくしたちは 深い郷土愛に根ざし 日常生活のなかで
これを実践するため この町民憲章を定めます
- 一、自然を愛し
美しい町をつくりましょう
- 一、心と体を鍛え
健康でたくましい町をつくりましょう
- 一、楽しく働き
豊かな町をつくりましょう
- 一、隣人を愛し
思いやりのある 明るい町をつくりましょう
- 一、生涯をとおして学び
文化の町をつくりましょう

町民の歌「飛躍の明日へ」

昭和 55 年 3 月 10 日制定 (合併 25 周年記念)

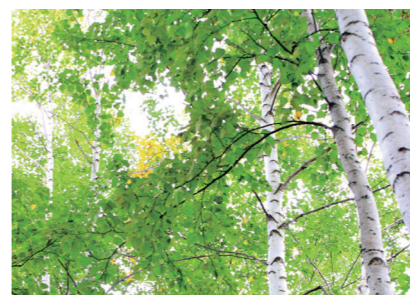
- 一、山あり 二岐 小野岳は
緑に映えて 幸を呼ぶ
光る大川 湯の煙
希望と意気に 燃える町
- 藤波ゆれる 下郷は
鶯の声 さわやかに
飛躍の明日を 目指しつつ
ああ 今我ら 伸びて行く
- 二、里あり 江川 旭田と
檜原の町 手を結び
歴史新に 奮い立ち
理想と平和 創る町
- 白樺続く 下郷は
黄金の稲穂 林檎の実
飛躍の明日を 歌いつつ
ああ 今我ら 栄え行く



町章

下郷町の「しも」の字を組み合わせ図案化したものです。町民の融和と団結を表し、町勢の着実な前進を象徴しています。

※この町章は下郷町合併 10 周年記念事業の一環で制作され、昭和 41 年 4 月 16 日開催の合併 10 周年および公民館落成祝賀会から使用されています。



町の木 シラカバ

高原型の気候と澄んだ空気の下郷は、シラカバが多数自生しており、ロマンチックな旅情を誘います。また、その真っ白な木肌と清楚なたたずまいは、町を訪れる人々に清涼な印象を与えてくれます。【昭和 54 年制定】



町の花 フジ

下郷の春、桜が終わってしばらくするとフジの花が咲き乱れ、辺りに香りをふりまきます。町内の至る所に自生し、塔のへつりは「藤見公園」とも言われ、薄紫色の花が岩肌を彩ります。【昭和 54 年制定】



町の鳥 ウグイス

長く寒い冬が終わり、春を迎えるころ、町のそこかしこに響き渡るウグイスの声は、春の訪れを感じさせてくれます。その愛らしい姿と明るいイメージから、町民に長く親しまれています。【昭和 54 年制定】